

がん性疼痛治療に用いられるオピオイド鎮痛薬一覧（当院採用薬、内服・外用）

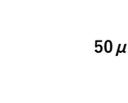
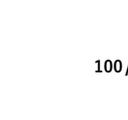
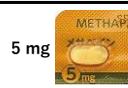
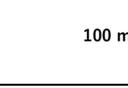
最終確認は必ず添付文書でお願いします

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

成分	商品名	規格・写真	放出機構	用法	投与間隔	特徴・使用時の注意点など	薬価
モルヒネ硫酸塩	院外 カディアンカプセル	30 mg	徐放性	1日1回	24時間	pH依存性の放出制御膜でコーティングされた徐放性顆粒がカプセルに充填されている。カプセルの内容物を砕いたりしないで、そのまま噛まずに服用すること。	691.6円/CP
	院外 MSコンチン錠	10 mg	徐放性	1日2回	12時間	高級アルコールをコーティングしたモルヒネ粒子を圧縮した構造で、腸管内の水分により徐々に溶解される。徐放性の製剤であるため、噛まずに服用すること。	241.1円/錠
	モルベス細粒	2% (10 mg/0.5 g) 6% (30 mg/0.5 g)	徐放性	1日2回	12時間	甘味をコーティングした徐放性細粒。粉砕不可。噛み砕いて服用しないように注意。 <メーカー作成資料より>飲み物に混ぜて服用(混ぜてから10分以内に飲む)したり、アイスクリームなどにふりかけ服用することも可能。8Fr以上のチューブで経管投与可⇒[注意]懸濁に用いたシリンジ内に薬剤が20%以上残存することが報告されているため、水を用いて懸濁しない。牛乳やエンシュアキッドなどに懸濁して投与するとチューブへの付着が少ない*。	2% 397.8円/g 6% 1,049.6円/g
モルヒネ塩酸塩	パシーフカプセル	30 mg	徐放性	1日1回	24時間	速放性粒と徐放性粒がカプセルに充填されている。カプセルの内容物を砕かず、そのまま噛まずに服用する。	767.6円/CP
	モルヒネ塩酸塩錠	10 mg	速放性	回数 記載なし	4時間 レスキュー 1時間	「激しい疼痛時における鎮痛・鎮静」以外の適応を有する(激しい咳嗽発作における鎮咳、激しい下痢症状の改善および手術後等の腸管蠕動運動の抑制)。素錠であり味は苦い。	125.8円/錠
	オプソ内服液	5 mg/2.5 mL/包	速放性	1日6回	4時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のモルヒネ経口製剤1日量の1/6量を目安とする。ソルビトールやアミノ酸の添加により、モルヒネの苦みをほぼ消失させた製剤。1回使い切り型アルミスティック分包品。	115.3円/包
	アンベック坐剤	10 mg 院外 20 mg	-	1日2~4回	6~12時間 レスキュー 1~2時間	室温保存(1~30°C)。他の坐剤との併用時は注意：水溶基剤を用いた坐剤(インドメタシン等)との併用で吸収低下、油性基剤のNSAIDs坐剤(ジクロフェナク)との併用で吸収上昇。	10 mg 314.3円/個 20 mg 601.8円/個
ヒドロモルフォン	ナルサス錠	2 mg	徐放性	1日1回	24時間	1920年代より世界43の国と地域で使用されている(2017年現在)1日1回投与の徐放性製剤 服用に際して割ったり砕いたり、噛み砕かないように注意。	202.8円/錠
	ナルラビド錠	1 mg	速放性	1日4~6回	4~6時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のヒドロモルフォン(ナルサス錠)の経口製剤1日量の1/6~1/4量を目安とする。	110.6円/錠
オキシコドン	オキシコドン徐放錠「第一三共」	5 mg 20 mg	徐放性	1日2回	12時間	原薬と水溶性高分子を組み合わせ、投薬後に消化管の広範囲で薬物を放出させることで薬効が持続する製剤(GWATab)。 噛み砕かないように注意。遮光気密保存。	5 mg 98.2円/錠 20 mg 331.1円/錠
	オキノーム散	2.5 mg(0.5%) (0.5g/包) 5 mg(0.5%) (1g/包) 10 mg(1%) (1g/包)	速放性	1日4回	6時間 レスキュー 1時間	レスキュードーズとして使用する場合は、定時投与中のオキシコドン錠1日量の1/8~1/4を経口投与する。 矯味剤として甘味のあるD-マンニトールと粉末還元麦芽糖水アメを配合している。 1包は水10 mLで溶解可能。	2.5mg 57.6円/包 5 mg 115.9円/包 10 mg 230.2円/包

参考：日本緩和医療学会「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2014年版」、日本医師会「新版がん緩和ケアガイドブック(2017)」、各薬剤のIF、メーカー資料等

*高田慎也ら：Palliative Care Research 3(2),101-107,2008

成分	商品名	規格・写真			放出機構	用法	投与間隔	特徴・使用時の注意点など	薬価		
フェンタニル	フェンタニル 3日用テープ「HMT」	2.1 mg 	4.2 mg 	院外 12.6 mg 	徐放性	3日毎	72時間	3日毎に貼り替える持続性経皮吸収型製剤。半透明フィルム状。当院には、含有の異なる2規格（院外であれば3規格）があり、単位面積あたりの放出速度はいずれも同一。 慢性疼痛に対する適応なし	2.1mg 1,212.6円/枚 4.2 mg 2,243.0円/枚 12.6 mg 5,880.7円/枚		
	デュロテップMTパッチ ※当院では慢性疼痛のみ 処方可能	2.1 mg 	4.2 mg 	院外 12.6 mg 	徐放性	3日毎	72時間	3日毎に貼り替える持続性経皮吸収型製剤。半透明フィルム状。当院には、含有の異なる2規格（院外であれば3規格）があり、単位面積あたりの放出速度はいずれも同一。 癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。 慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	2.1mg 1,761.5円/枚 4.2 mg 3,161.4円/枚 12.6 mg 8,594.0円/枚		
	院外 ワンデュロパッチ ※当院では慢性疼痛のみ 処方可能	0.84 mg 	1.7 mg 	3.4 mg 	徐放性	1日毎	24時間	1日1回貼付型製剤。含有の異なる3規格を採用しており、単位面積当たりの放出速度はいずれも同一である。半透明フィルム状の製剤。 癌性疼痛以外に、「中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛」にも適応を有する。 慢性疼痛に処方するには、e-ラーニングの受講が必要。	0.84 mg 533.2円/枚 1.7 mg 1,005.9円/枚 3.4 mg 1,879.9円/枚		
フェンタニル クエン酸塩	院外 フェントステーブ	1 mg 	2 mg 	6 mg 	徐放性	1日毎	24時間	1日1回貼付型製剤。支持体が白色で、直接ボールペン・鉛筆等で記入可能。	1 mg 567.7円/枚 2 mg 1,056.8円/枚 6 mg 2,845.8円/枚		
	院内 イーフェンバッカル錠 (科限定)	50 µg 				速放性	1日あたり 4回以下	レスキュー 4時間	上顎臼歯の歯茎と頬の間に挟みこむようにおいて、溶解させる。定期的な強オピオイドの投与を受けている患者を対象とする。原則、モルヒネ経口換算30mg/日以上以上の投与を受けている患者を対象とする。それ未満の患者では慎重に適応を検討する。50~100 µgから開始する。1回800 µg使用しても効果が不十分な場合は他の方法への変更を検討する。	495.8円/錠	
	院内 アブストラル舌下錠	100 µg 				速放性	1日あたり 4回以下	レスキュー 2時間	舌下の口腔粘膜より吸収させる。定期的な強オピオイドの投与を受けている患者を対象とする。原則、モルヒネ経口換算60mg/日以上以上の投与を受けている患者を対象とする。それ未満の患者では慎重に適応を検討する。定期投与量に関わらず、100 µgから開始する。1回800 µg使用しても効果が不十分な場合は他の方法への変更を検討する。	564.4円/錠	
メサドン	メサベイン錠	5 mg 	10 mg 				徐放性	1日3回	8時間	他の強オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。他のオピオイド鎮痛剤の交差耐性が不完全であるため、他のオピオイド鎮痛剤との等鎮痛比は確立していない。処方する医師は、e-ラーニングの事前受講等により「処方可能医師」として登録される必要がある。	5 mg 183.0円/錠 10 mg 347.6円/錠
タベンタドール 塩酸塩	タベンタ錠	25 mg、100 mg			徐放性	1日2回	12時間	不正使用防止を目的にポリエチレンオキシドが使用された錠剤（TRF）で、ハンマーを使用しても壊れない構造になっている。	25mg 108.7円/錠 100 mg 391.7円/錠		
コデイン	コデインリン酸塩	錠 20 mg 	散 10% (100 mg/g) 白色～帯黄白色の粉末			速放性	回数 記載なし	4~6時間 レスキュー 1時間	WHO三段階除痛ラダーの第2段階（弱オピオイド） 「疼痛時における鎮痛」以外に、各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静、激しい下痢症状の改善に適応を有する。	錠 20 mg 78.1円/錠 散 10% 147.1円/g	
トラマドール 塩酸塩	ワントラム錠	100 mg 				徐放性	1日1回	24時間	非麻薬、WHO三段階除痛ラダーの第2段階（弱オピオイド） 1日1回経口投与でトラマドール塩酸塩カプセル（1日4回経口投与）と同等の血漿中濃度推移を示し、24時間血中濃度を維持する。	113.2円/錠	
	トラマールOD錠	25 mg 				速放性	1日4回	4~6時間 レスキュー 1時間	非麻薬、WHO三段階除痛ラダーの第2段階（弱オピオイド） 口腔内崩壊錠。気密保存。レスキュードーズとして使用する場合には、定時投与中の本剤の1日量の1/8~1/4を経口投与する。 ※アセトアミノフェンとの配合剤であるトラムセットの適応症は「非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛：非がん性慢性疼痛、抜歯後の疼痛」のみ	36.5円/錠	